



### 「新院長あいさつ」

NTT 東日本東北病院院長 **佐藤 譲**

佐々木毅前院長の後任として2013年7月1日、院長に就任いたしました。私は岩手県の出身です。盛岡第一高等学校から東北大学に進み、1972(昭和47)年に医学部を卒業しました。一関市にある岩手県立磐井病院での内科研修後に当時の東北大学第三内科に入局、米国 NIH での留学中(1981～84年)を除いては東北大学で後藤由夫教授(現名誉教授)、豊田隆謙教授(現名誉教授)のご指導のもとに、糖尿病を中心に研究・教育・診療に従事してきました。

2003年に新設の岩手医科大学糖尿病代謝内科に教授として赴任、約10年間岩手医科大学で糖尿病の診療・教育・研究を担当し、副院長なども経験しましたが、2013年3月に定年退職し、本年4月からはNTT東北病院の副院長をしております。

本院は開設34年目を迎える伝統ある病院です。1979年に日本電信電話公社東北通信病院として、職員の健康管理のために開院しましたが、翌年には当時の3公社5現業の中で最初に一般住民のために開放され、1989年、NTT東日本東北病院と名前を変えて現在に至っております。

初代の荒川雅男院長(東北大学名誉教授、小児科)はロンドンのウェリントン病院をモデルに「最高の医療設備を有し、誠意あふれる病院」を目指して東北大学から優秀なスタッフを集めて開院したと伺っています。以来、東北大名誉教授の葛西森夫(外科)・多田啓也(小児科)・矢島聡(産婦人科)・佐々木毅(免疫血液)院長へと引き継がれてきました。当時は生化学・動物実験室なども備え、荒川院長自ら試験管を振っておられたそうです。さすがに時代は変わり、実験室は倉庫として敷地内に残っております。

当時の日本電信電話公社が作った病院の建物は堅牢で、2011年3月11日の東日本大震災でもビクともしなかったそうです。震災時にはNTT東日本の強力な電源車が支援に駆けつけ、佐々木前院長の指揮のもとに、停電のなか本院だけが昼夜を問わず全職員が協力して救急医療に尽力したと伺っております。「人権と生命の尊厳を守り、心のこもった温かく良質な医療を提供する」という当院の理念が大震災中も貫かれ、地域の頼りになる病院として医療に貢献してきました。

当院は仙台駅東口から車で約10分、仙台市南東の若林区の住宅地にある、各科の専門医をそろえた中規模の総合病院です。高齢化する社会の中で、地域の中核病院として医療連携を促進し、住民の皆様のニーズに適切にこたえられる良質な医療の提供のために、これからも職員一同尽力したいと思います。地域住民の健康を守るという医療の原点を忘れずに、活気のある楽しい職場、健全な病院経営も目指したいと思いますので、どうぞよろしくごお願い申し上げます。

#### 病院理念

人権と生命の尊厳を守り、心のこもった温かい良質な医療の提供に努めます。

#### ～目次～

- 新院長あいさつ……………P.1
- 糖尿病チーム紹介、産婦人科記事等……………P.2
- 新任医師、認定看護師紹介等……………P.3
- 呼吸リハ講習会、TOPICS……………P.4

# 糖尿病チームの取り組み



糖尿病教室

当院は今年 4 月より佐藤譲院長先生が赴任され、今まで以上に充実した糖尿病治療が行えるよう糖尿病チーム全体で取り組んでいます。更に、地域医療連携室を通じ、近隣開業医の先生方と糖尿病患者様に関する情報を共有しながら、より多くの患者様のニーズにあった診察や指導、支援を継続していきたいと考えています。

外来診療や教育入院などへの積極的な関わりはもちろん、2009 年から開催してきた糖尿病教室も 100 回を越えました。参加者皆様からのご意見やご要望を伺いながら、より一層充実した糖尿病教室の開催に努めていきます。

また、8 月に糖尿病患者友の会「NTT はぎの会」を結成いたしました。糖尿病に関する知識の普及と会員様相互の親睦を図ることを目的としており、会員は当院の患者様だけでなく、糖尿病に関心をお持ちの方はどなたでも入会ができます。

糖尿病教室、糖尿病患者友の会「NTT はぎの会」に関する詳細は、当院内科外来【TEL：022-236-5721】までお問合せ下さい。

## 市民公開講座

### 第 34 回

### 「糖尿病：クスリなしでもここまで良くなる」

冬の間の運動不足や車生活が原因で東北地方は肥満になり、その後糖尿病となるケースが多い傾向があります。体重を減らしたただで、お薬を飲まず、血糖を保ちつづけているという症例も講座の中で紹介されました。クスリなし＝生活習慣の改善（食事内容、食べ方、運動など）がキーとなるようです。（H25.6.26）



熱弁をふるう佐藤 譲院長

## 当院産婦人科内視鏡治療について読売新聞に掲載されました!

2013 年 7 月 7 日の読売新聞“病院の実力宮城編”で右のような数字が掲載されました。

子宮筋腫や子宮内膜症、卵巣腫瘍など女性特有の疾患の内視鏡下手術について当院産婦人科の実施件数が紹介されました。

今年 7 月から産婦人科は医師が 3 名体制となりました。更に積極的に診察、治療に取り組んで参ります。

### ■「婦人科内視鏡治療」 2012 年治療実績

医療機関名	年間手術件数
NTT 東日本東北病院	380 件

## 新任医師紹介

よろしくお願いたします!!



う が じん ともひさ  
**産婦人科 宇賀神 智久 医師**

7月から産婦人科で診療させていただいております。前任地は気仙沼市立病院でした。これまでの経験を活かし、誠実な医療の提供に努力致します、よろしくお願致します。



## 認定看護師紹介



**皮膚・排泄ケア認定看護師 菅井 雅子 5F 病棟主任**

皮膚・排泄ケア認定看護師として院内を横断的に活動しています。

主な活動内容は、褥瘡をはじめとする創傷や失禁により生じた皮膚障害に対するケアとその予防、消化器ストーマ造設に伴う術前・術後のケアと指導です。

また、皮膚・排泄ケア分野の看護の質が向上するよう、職員に対して褥瘡予防やスキンケア、ストーマケアなどをテーマに研修会を開催しています。

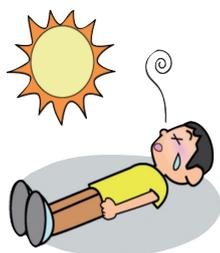
皮膚を健やかに保つこと、気持ちよく排泄することは、すべての人に重要なことであり、生活の質に大きく影響するものと認識しています。

看護・介護サービスを行っている方への勉強会開催など、お役に立てることがありましたらお気軽にお声掛けください。よろしくお願致します。

## 仙台七夕祭り☆救護支援で表彰されました!!



8月6・7・8日の3日間、毎年恒例の仙台七夕が開催され、NTT 東日本東北病院では今年も藤崎ファーストタワー前でテントを設営し観光客等の救護班として参加しました。今年も200万人を超える人出で、中日と最終日が真夏日となり、重い熱中症などを想定し準備をしておりましたが、幸いにも重症の方はなく今年の救護支援は無事に役目を果たしました。



後日、3年連続となった救護支援活動に対し、仙台市商工会議所様より感謝状をいただきました。

東北の風物詩にもなっている盛大なお祭りに協力できることを誇りに思い、今後も活動を継続していきたいと思っております。



# 呼吸リハビリテーション講習会



実際の患者様を対象にした指導



講演会

当院では、チーム医療の一環として包括的呼吸リハビリテーションを実践しています。

9月2日と3日に順天堂大学大学院医学研究科の非常勤講師である佐野裕子先生をお招きし、実際の患者様を対象とした呼吸リハビリテーションの指導と、「チームで実践 = 楽になる楽しい呼吸リハビリテーション=」という演題で講演をして頂きました。

経験豊富な佐野先生の考え方に触れ、実際の治療場面を見せて頂けたこと、また最近の呼吸リハビリテーションの流れを分かりやすく講演頂けたことは大変刺激になり、「明日からまた臨床を頑張ろう!」という活力をもらえました。

今回の研修内容を呼吸リハビリテーションに生かし、より一層地域医療に貢献していければと思います。

(報告：リハビリ科 PT 藤原 裕太)

## Topics

## Topics

## Topics



H25.6.20  
職員の接客向上を図るスマイルアップ研修



H25.7.10 セタコンサート  
アコーディオンの音色が新鮮でした。



H25.7.20 大和町夏祭り  
流しそうめんをする三浦医師(研修医)



H25.9.20 震災復興特別公演  
全国的にも有名なわらび座のパフォーマンスに  
観客から拍手喝さい!!

〒984-8560 仙台市若林区大和町2-29-1  
NTT東日本東北病院

地域医療連携室

TEL 022-236-5899  
FAX 022-236-5920